



創世会
小沼 秀朗

か 待機児童数はゼロになるの

Q 昨年春204人であった入所保留者の見込まれている。0〜2才児の保育の市民ニーズに対し、市の対策は妥当であったのか。今後の対策を伺う。

昨年春204人であった入所保留者の見込まれている。0〜2才児の保育の市民ニーズに対し、市の対策は妥当であったのか。今後の対策を伺う。



令和2年4月に開園した「みなみさいごうのぞみ保育園」

できる限りの対策を行い受け入れ人数の増加に努める

A これまで、幼稚園の預かり保育の受入体制の構築や中東遠総合医療センター内の保育園への地域枠新設による受け入れ枠の拡大、さらには、私立園

と連携した保育士確保による受け入れ人数の増加に努めてきました。現在、第二次調整で入所保留となった方に対し、空きのある認可保育園や、幼稚園の預かり保育、認可外保育園の紹介を行っており、引き続き保育士の確保等できる限りの対策に努めていきます。

(仮称)掛川第2PA及びスマートーC開設を伺う

Q 県内PAで最も遅れている掛川市のスマートーC開設事業を、掛川第2PAと合わせ開設し、企業誘致の促進、倉真温泉郷の全国発信や市内経済活性化につなげる考えがないか伺う。

掛川市の新たな観光名所となるように推進していく

A 掛川第2PAの整備により、雇用の創出や地元産業の振興のみならず、倉真温泉をはじめとする掛川の魅力を発信するアンテナショップの設置など、掛川市の新たな観光名所となるような事業を推進していきます。



創世会
榎村 航一

ラグビープロチーム誘致「杜のスタジアム」建設の推進を

Q 交流人口増加による地域経済活性化のみならず、スポーツを通じた教育振興・文化振興・福祉対策など、生涯学習の場ともなる「杜のスタジアム」の建設を県へ提案すべきと思うが、市の見解を伺う。



エコパの奇跡を呼んだ「幸福を呼ぶ木製ラグビーボール」

掛川市民の機運の高まりを受けて議論をしていく

A プロスポーツチームがホームタウンとして拠点をおくことは、スポーツ振興だけでなく地域振興や地域経済の活性化にも大変有効だと考えています。まずは市民の機運の高まり

を受けて、スタジアムの新設やチームの創設について議論していくことが良いと考えています。

森林環境譲与税を弾力的な運用ができるよう基金化を

Q 森林の保全事業を推進するためには、担当人員増員などの体制強化と共に、森林環境譲与税を災害防止などにも使えるよう基金での管理を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

財務管理がより効果的であるかどうか検討していく

A 森林・林業に関する知識や経験を有する地域林政アドバイザーを昨年4月から採用し、国や森林・林業関係者、市民等とのネットワークの形成や職員のスキルアップにつなげるなど体制強化を図っています。また、掛川森林事務所職員とも協力体制を取りながら制度に対応しており、引き続き連携を深めていきます。基金の設置については、財務管理がより効果的であるかについて検討していきます。